

2009年4月28日

各位

第 09-011 号  
西武鉄道株式会社

池袋線飯能第2号踏切遮断桿ふみきりしやだんかんの上昇についての対応（ご報告）

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）では、2009年3月25日（水）、池袋線飯能第2号踏切（埼玉県飯能市柳町26-21）において、踏切の遮断桿が降下している途中で上昇してしまい、踏切が開いたままの状態が電車通過するという事象が発生いたしました。このたび、関係機器の交換が全て終わり、安全が確認できました。

踏切をご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。詳細につきましては下記のとおりです。

記

1. 発生日時 2009年3月25日（水） 18時51分頃

2. 発生場所 飯能第2号踏切（埼玉県飯能市柳町26-21）

3. 判明の経緯

上記時刻頃、飯能駅から車庫（武蔵丘信号場：埼玉県飯能市飯能1107-3）に向かう回送電車（飯能駅始発・7両編成）が飯能駅を出発し、同踏切を通過する前、同踏切の警報機は正常に鳴動しておりましたが、遮断桿が降下している途中で上昇し、踏切が開いた状態で同電車が通過した事象を同踏切付近にいたお客さまより駅に通報していただきました。

当時、上記の事象において、ケガをされた人はおりませんでした。

また、本件による電車の遅れの影響はありませんでした。

4. その後の対応

原因究明のため関係機器の詳細調査を実施しましたが、原因特定には至りませんでした。今般、関係する機器全ての交換が完了し、安全が確認できました。

また、本日まで係員を配置して異常がないことを確認しました。

（2009年3月25日～4月28日 踏切鳴動回数：約5800回（※上り下り合わせ））

※4月29日10時00分、係員配置（2名）を解除する予定です。

以上